

# ランチオンセミナー

---

募集ご案内

## ご挨拶

社会の複雑化・少子高齢化の背景のもとで、自閉症・注意欠乏多動症候群などの発達障害やパーキンソン病、認知症などの神経変性疾患、統合失調症やうつ病などの精神疾患などが増加の一途をたどっています。そのため健やかな脳を育成し、精神・神経疾患の予防・治療法を開発し、失われた身体機能の回復・補完を可能とする技術開発をもたらす研究分野として、神経科学研究に対する社会からの要請と期待が近年ますます高まっています。

1990年代に米国や日本ではさまざまな戦略的脳科学研究が行われましたが、研究成果が必ずしも人の健康や産業発展に結びつかないという批判が相次ぎました。2000年代に入るとその反動から、国際的に製薬や臨床応用などのいわゆる「出口」につながるような研究に研究費を重点的に配分する動きが続きました。出口志向の研究は、短期的な結果がみえやすいため、予算が獲得しやすく政治家にも好まれます。しかし、このような研究のみでは新しい発見は決して得られないことが再びこの10年間で再認識されてきました。結果がすぐに出なくても基礎科学への長期的な投資が必須であり、新しい発見は基礎科学なしには語れないと痛切な反省がなされています(Nature Neuroscience誌2013年8月号論説)。基礎医学と臨床医学が密接に連携をとって常に「出口」へ繋がる努力は続けながらも、基礎医学研究を極めていくことが必須と考える次第です。

神経科学の最大の特徴は、カバーすべき領域が生命科学・医学の中でも極めて広範であることにあります。本大会でも分子生物学・生理学・薬理学・心理学・解剖学などの生命科学・基礎医学の研究者や精神科・リハビリテーション・脳外科・神経内科などの臨床医学分野の研究者が広く集まります。各領域の研究者間の密接な連携を進め、同時に幅広い視野をもつ次世代の神経科学者を育成することが本大会の最大のミッションと考えています。このために専門分野を越えた教育講演やシンポジウムの企画に加えて臨床系学会との連携等にも力を入れています。また若手・女性研究者の参加を積極的に推進するための工夫もしてあります。最後に、旅費補助制度や共同シンポジウムを通して欧米や近隣アジア諸国の関連学会との国際交流も積極的に進めます。本大会が、性別・年齢層・専門分野・国籍の異なる神経科学者の交流を推進することによって、「Back to Basics for Future Neuroscience」をキーワードとして、神経科学研究を極め、更には人々の幸福をもたらす未来の神経科学へと繋がっていくことを念願しています。

本来であれば本大会の開催につきましては、会員からの参加費でまかなうべきところですが、開催の目的を達成するには会場の設営や学会の運営に多大な費用を要し、諸費用の不足が見込まれております。つきましては厳しい状況の中、甚だ恐縮ではございますが、本大会の開催意義と事情をご賢察の上、格別のご協力、ご視点を賜りたくお願い申し上げます。

第 38 回日本神経科学大会

大会長 柚崎 通介

慶應義塾大学医学部 教授

## ■開催概要

○名称 和文名 第38回日本神経科学会大会  
英文名 The 38th Annual Meeting of Japan Neuroscience Society

○大会テーマ 神経科学を極める  
Back to Basics for Future Neuroscience

○会期 2015年(平成27年)7月28日(火)～31日(金)

○会場 神戸国際会議場、神戸国際展示場1号館、2号館

### ○開催の目的と意義

本大会では、神経科学分野の最先端で活躍する国内外のトップ研究者を招聘し、基礎から臨床に及ぶ幅広い分野の神経科学研究者の研究発表や情報交換の場を提供し、性別・年齢層・専門分野・国籍の異なる研究者間の交流を積極的に推進することを目的とする。「Back to Basics for Future Neuroscience」をキーワードとして神経科学研究を極め、人々に幸福をもたらす未来の神経科学の発展へ繋げていく。

### ○開催計画の概要

- ・プレナリーレクチャー
- ・特別教育講演
- ・シンポジウム
- ・受賞記念講演
- ・一般口演・ポスター発表
- ・ランチョンセミナー
- ・機器 試薬 書籍 等展示会

○予定参加者数 3,500名

## ○大会組織

大会長 柚崎 通介 (慶應義塾大学医学部)  
実行委員長 平井 宏和 (群馬大学大学院医学系研究科)  
副実行委員長 幸田 和久 (慶應義塾大学医学部)

### 実行委員

岡野 栄之 (慶應義塾大学医学部)  
上口 裕之 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
鈴木 則宏 (慶應義塾大学医学部)  
高橋 孝雄 (慶應義塾大学医学部)  
仲嶋 一範 (慶應義塾大学医学部)  
三村 将 (慶應義塾大学医学部)  
安井 正人 (慶應義塾大学医学部)  
吉田 一成 (慶應義塾大学医学部)  
里宇 明元 (慶應義塾大学医学部)

組織委員長 安西 祐一郎(日本学術振興会)

### 組織委員

岡野 栄之 (慶應義塾大学医学部)  
金澤 一郎 (国際医療福祉大学院 東京事務所)  
高坂 新一 (国立精神・神経医療研究センター)  
津本 忠治 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
中西 重忠 (大阪バイオサイエンス研究所)  
西川 徹 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)  
樋口 輝彦 (国立精神・神経医療研究センター)  
廣川 信隆 (東京大学大学院医学系研究科)  
御子柴 克彦(理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
水澤 英洋 (国立精神・神経医療研究センター病院)  
宮下 保司 (東京大学大学院医学系研究科)

プログラム委員長 岡部 繁男 (東京大学大学院医学系研究科)

### プログラム委員

赤澤 智宏 (東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科)  
池谷 裕二 (東京大学大学院薬学系研究科)  
磯村 宜和 (玉川大学 脳科学研究所)  
井ノ口 馨 (富山大学大学院医学薬学研究部)  
入來 篤史 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
岩坪 威 (東京大学大学院医学系研究科)  
大塚 稔久 (山梨大学医学部)  
岡澤 均 (東京医科歯科大学 難治疾患研究所/脳統合機能研究センター)  
岡戸 晴生 (東京都医学総合研究所 脳発達・神経再生分野)  
岡野 ジェイムス 洋尚(東京慈恵会医科大学 再生医学研究部)  
岡ノ谷 一夫 (東京大学教養学部)  
尾仲 達史 (自治医科大学医学部)  
加藤 忠史 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
上口 裕之 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)

喜田 聡 (東京農業大学応用生物科学部)  
北澤 茂 (大阪大学大学院生命機能研究科)  
國吉 康夫 (東京大学大学院)  
功刀 浩 (国立精神・神経医療研究センター)  
久場 博司 (名古屋大学大学院医学研究科)  
小泉 修一 (山梨大学医学部)  
小泉 英明 (株式会社 日立製作所)  
合田 裕紀子 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
五嶋 良郎 (横浜市立大学大学院医学研究科)  
後藤 由季子 (東京大学大学院薬学系研究科)  
小早川 令子 (大阪バイオサイエンス研究所)  
齋藤 康彦 (群馬大学大学院医学系研究科)  
西道 隆臣 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
坂井 克之 (玉川大学 脳科学研究所)  
酒井 邦嘉 (東京大学大学院総合文化研究科)  
櫻井 武 (金沢大学大学院医薬保健研究域医学系)  
佐々木 努 (群馬大学 生体調節研究所)  
佐藤 悠 (山梨大学 応用生命化学専攻)  
鮫島 和行 (玉川大学 脳科学研究所)  
澤本 和延 (名古屋市立大学大学院医学研究科)  
澁木 克栄 (新潟大学 脳研究所)  
下郡 智美 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
鈴木 匡子 (山形大学大学院医学系研究科)  
泰羅 雅登 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)  
高橋 琢哉 (横浜市立大学大学院医学研究科)  
高橋 智幸 (同志社大学脳科学研究科)  
谷藤 学 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
辻 省次 (東京大学大学院医学系研究科)  
坪井 昭夫 (奈良県立大学 先端医学研究機構)  
東原 和成 (東京大学大学院農学生命科学研究科)  
仲嶋 一範 (慶應義塾大学医学部)  
畑 裕 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科)  
馬場 広子 (東京薬科大学薬学部)  
平井 宏和 (群馬大学大学院医学系研究科)  
平田 たつみ (国立遺伝学研究所 脳機能研究部門)  
深井 朋樹 (理化学研究所 脳科学総合研究センター)  
真鍋 俊也 (東京大学医科学研究所 基礎医科学部門)  
三浦 正幸 (東京大学大学院薬学系研究科)  
三村 将 (慶應義塾大学医学部)  
宮田 麻理子 (東京女子医科大学医学部)  
虫明 元 (東北大学大学院医学系研究科)  
森 郁恵 (名古屋大学大学院理学研究科)  
安井 正人 (慶應義塾大学医学部)  
柳川 右千夫 (群馬大学大学院医学系研究科)  
吉本 潤一郎 (沖縄科学技術大学院大学 神経計算ユニット)  
和田 圭司 (国立精神・神経医療研究センター)  
渡辺 雅彦 (北海道大学大学院医学研究科)  
渡部 文子 (東京慈恵会医科大学総合医科学研究センター)

○収支予算案 (2014年7月1日現在)

収入の部		
項目	金額	備考
1. 参加費	34,010,000 円	早期登録 会員 1,000 名×15,000 円 非会員 30 名×20,000 円 学生会員 500 名×1,000 円 学生非会員 20 名×3,000 円  後期登録 会員 400 名×17,000 円 非会員 100 名×22,000 円 学生会員 100 名×2,000 円 学生非会員 100 名×4,000 円  当日登録 会員 200 名×19,000 円 非会員 150 名×24,000 円 学生会員 100 名×3,000 円 学生非会員 50 名×5,000 円
2. セミナー共催費	9,828,000 円	7 件
3. 企業展示出展料	17,539,200 円	100 小間：書籍コーナー20 小間を含む
4. 広告収入：HP パナー広告	2,405,600 円	
広告収入：プログラム集広告	3,100,000 円	17 頁
5. 寄付金	12,000,000 円	
合計	78,882,800 円	

支出の部		
項目	金額	備考
1. 会議準備費	<u>18,389,450 円</u>	
1) 人件費	5,322,000 円	
2) IT 制作費	5,727,950 円	HP・演題・参加登録システム含む
3) 印刷・製作費	6,321,310 円	翻訳費用を含む
4) 通信・運搬費	818,190 円	
5) 消耗品・雑費	200,000 円	
2. 会議当日費	<u>54,012,250 円</u>	
1) 人件費	4,981,916 円	
2) 会議費	7,495,440 円	市民公開講座開催費を含む
3) 会場費	21,720,624 円	
4) 機材・備品費	5,883,900 円	
5) 看板装飾費	1,421,200 円	
6) 展示関係費	5,559,400 円	
7) 招聘費	6,949,770 円	
3. 事後処理費	<u>2,056,520 円</u>	
4. 予備費	<u>4,424,580 円</u>	
合計	78,882,800 円	

## ■ランチョンセミナー 募集要項

ランチョンセミナーは、第 38 回日本神経科学大会との共催とします。

○会場： 大会の各講演会場を使用

○ランチョンセミナーの使用言語： 日本語／英語

○日時： 2015 年(平成 27 年)7 月 28 日(火)～30 日(木)

発表時間 - 60 分(昼食時間帯を予定)

1 日あたり 3～6 社程度の平行開催となります。申込数に応じて変更する場合があります。

※プログラムの都合により、時間帯が変更となる場合があります。

○申込方法： 別添の申込書に必要事項をご記入の上、下記申込先まで FAX または e-mail でお送りください。  
お申込み後(E-mail、FAX 等による申込受理後)の開催登録の取り消しはできません。ご了承の上、お申込みください。

お申込み後に共催費をご請求書いたします。請求書に記載いたします振込口座へ期日までにお振込みください。

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

※手形によるお支払いはお受けできません。

○申込先： 第 38 回日本神経科学大会展示会事務局(株式会社エー・イー企画内)

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 岩波書店一ツ橋別館 4 階

TEL:03-3230-2744 FAX:03-3230-2479

e-mail: e\_staff@neuroscience2015.jnss.org

○申込締切： 2015 年 3 月 20 日(金)

○情報公開について：

拠出いただきましたランチョンセミナー共催費につきまして各社が公表することに同意いたします。

○会場・共催費

開催日	時間(予定)	セミナー名称	会場	席数(予定)	共催費
7 月 28 日(火)	12:00～13:00	ランチョンセミナー1	神戸国際会議場 3F 国際会議室	360 席	¥ 1,700,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー2	神戸国際会議場 4F 401+402	180 席	¥ 1,300,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー3	神戸国際会議場 5F 501	190 席	¥ 1,300,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー4	神戸国際会議場 5F 502	190 席	¥ 1,300,000
7 月 29 日(水)	12:00～13:00	ランチョンセミナー5	神戸国際会議場 3F 国際会議室	360 席	¥ 1,700,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー6	神戸国際会議場 4F 401+402	180 席	¥ 1,300,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー7	神戸国際会議場 5F 501	190 席	¥ 1,300,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー8	神戸国際会議場 5F 502	190 席	¥ 1,300,000
7 月 30 日(木)	12:00～13:00	ランチョンセミナー9	神戸国際会議場 3F 国際会議室	360 席	¥ 1,700,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー10	神戸国際会議場 4F 401+402	180 席	¥ 1,300,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー11	神戸国際会議場 5F 501	190 席	¥ 1,300,000
	12:00～13:00	ランチョンセミナー12	神戸国際会議場 5F 502	190 席	¥ 1,300,000

※共催費は消費税を含んでおりません

※開催日、開催会場の決定は、申込書の開催希望欄を参考の上、組織委員会にて決定いたします。予めご了承ください。

## ○備考

### ●講演会場設備について

大会で用意しております標準的な講演設備(プロジェクター、スクリーン等の映写機材やマイク等の音響機材)、映像・音響・照明担当の各係員は開催費に含まれております。

その他、ビデオ撮影やテープ録音等の機材などを用意する場合は別途費用となります。事務局までお問い合わせください。

### ●プログラム編成

プログラムの編成は、組織委員会にて決定し、事務局よりセミナー共催者へご連絡いたします。

### ●ランチョンセミナー共催費に下記の費用は含まれておりません。会期終了後に運営事務局(株式会社エー・イー企画)より実費ご請求させていただきます。

#### ○参加者用の昼食(ドリンク・お茶等付)

時間帯が昼食時に当たりますので、昼食のご用意をお願いいたします。

お弁当類とドリンクのセット:単価 1,300 円程度を予定。

数量はセミナー共催者に決定していただきます。

昼食の発注は、申込締切日以降にセミナー共催者へ発注数の確認連絡を行い、運営事務局から一括発注いたします。

#### ○オプション

##### ①人件費:運営スタッフ(アナウンス係、進行計時係、資料・弁当配付係、誘導係等)

※大会運営スタッフとは別途依頼発注となります。

##### ②講師、座長への謝礼、交通費

##### ③看板・表示物:会場前表示看板等

##### ④追加機材:収録機材(録音・録画)、同時通訳、控室機材等

##### ⑤控室:部屋代

※今大会では講演会場にお打合せできる控室をご用意できません。そのため隣接の神戸ポートピアホテルに依頼することになります。

##### ⑥業務運営費

※上記オプションに申し込まれた場合には、オプション費用の合計額に手数料 10%を併せてご請求いたします。

